

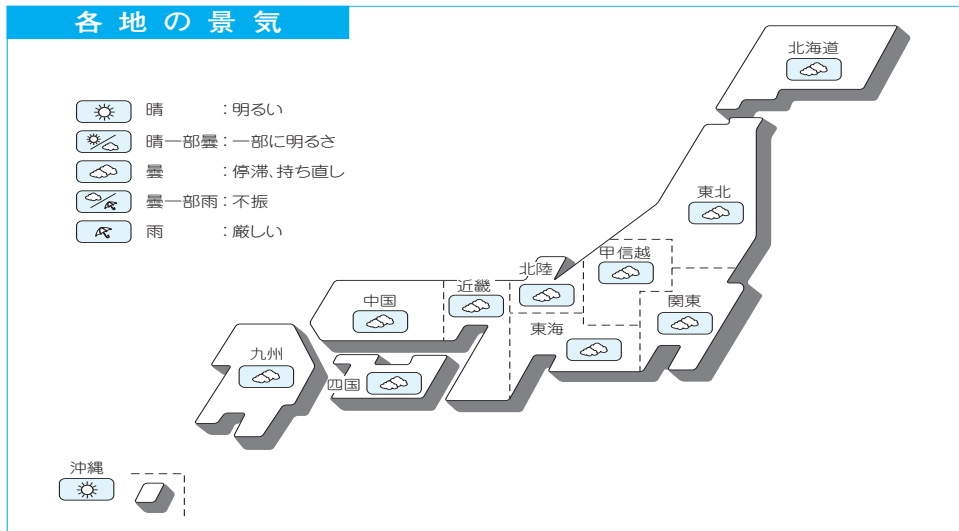
全国地方銀行協会



地方経済天気図

(平成26年7月発表分) から

消費関連に持ち直しの動き

1. 各地の景況感



-  • 関東、甲信越、中国…個人消費は、乗用車販売、百貨店販売が消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から減少したものの、スーパー販売が増加に転じるなど、持ち直しの動き。
- 四国…個人消費は衣料品、飲食品に加え、乗用車販売も増加。
- 北海道…住宅建築は駆け込み需要の反動から、着工件数が減少。
- 東北…公共工事は復旧・復興に向けた大型工事の前倒し発注などから、増加。
- 東海、九州…輸出は自動車が減少し、弱含み。生産は輸送機械、化学が低下。
- 北陸、近畿…設備投資は中小企業にも投資計画を積極化する動き。
-  • 沖縄…公共工事が増加したほか、観光は国内客、外国人客ともに増加し、好調。

2. 近県「現在の景気」

〔宮城県〕

全体として景気は、消費税率引上げに伴う振れがみられるものの、震災復旧需要などに伴い経済活動は総じて高水準で推移しており、緩やかに回復している。

〔山形県〕

総じてみれば持ち直しの動きとなっているものの、消費税率引上げの影響から改善ペースは鈍化している。

〔新潟県〕

一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。

〔栃木県〕

消費増税の反動が見られるものの、基調としては緩やかに回復している。

〔茨城県〕

緩やかな持ち直し基調にあるものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の変動による弱い動きがみられる。

3. トピックス（東北・近県）

「青森県」

JR 北海道は、北海道新幹線（平成27年度末開業予定）の2つの新駅の駅名について、青森県今別町の駅を「奥津軽いまべつ」、北海道北斗市の駅を「新函館北斗」とすると発表した。

「岩手県」

岩手経済研究所が4月に実施した「岩手県内企業設備投資計画調査」（回答企業170社）によると、平成26年度の設備投資計画額（工事ベース）は9,342百万円と前年度の実績額比22.7%増の見通し。製造業、非製造業とも二桁の伸び、復興や景気の持ち直しなどを追い風に、抑制傾向にあった投資姿勢が前向きな姿勢に転じつつある。

「秋田県」

秋田県酒造組合がまとめた県の2013年度清酒輸出量は、前年度から23.7%増加し、過去最多の23万7,984リットルとなった。輸出量は組合が統計を取り始めた1999年度の3万6,199リットルと比べ、6.6倍に拡大した。国別出荷量では、米国が前年度比18%増の13万824リットルと最も多く、全体の55%を占めた。次いで韓国の2万1,774リットル、中国（香港を含む）の1万9,594リットル、スウェーデンの1万1,448リットルとなった。世界的な和食ブームを背景に、主力販売先の米国や東南アジアを中心に増加し、新たな国への市場開拓も行われている。

「宮城県」

県は、東日本大震災被災商工業者営業状況調査を発表した。同調査では、県内33商工会および6商工会議所の会員38,783件に対して調査を行った。震災で被害を受けた商工業者のうち、「営業継続」

とした商工業者は前年比0.3ポイント上昇の86.1%、「仮復旧」の商工業者は同3.5ポイント低下の8.3%となった。また、「廃業」した商工業者は同0.3ポイント上昇の13%となった。

「山形県」

JR と自治体、観光業者などが連携して行う大型観光キャンペーン「山形デスティネーションキャンペーン」が、6月14日に開幕。9月13日までの期間中、羽黒山の五重塔ライトアップなどのイベントが県内各地で開催される。山形での開催は10年ぶり。

「新潟県」

産学官が連携して新潟地域の航空機関連産業を支援する取り組みである「ニイガタスカイプロジェクト」のメンバーが、5月20～25日にドイツのベルリンで開催された見本市「ベルリンエアショー2014」に参加した。この見本市には世界40か国から約1,200の企業や団体が出展して、関係者ら約23万人が来場した。参加したメンバーはこの見本市で、自分達が開発した小型ジェットエンジンをイベント参加者にPRした。その結果、国内外の企業十数社の担当者から問い合わせが寄せられた。試作品が一定の評価を得たことで、今後の商品化や販売に自信を深めたようである。

「栃木県」

6月6日、県の農政部が発表した報告によるとJA 全農栃木扱いの2014年産（13年秋～14年春）イチゴが生産量、販売金額ともに全国1位になる見通しである。出荷量は26年連続、販売金額は20年連続の全国1位。

（出所：全国地方銀行協会地方経済天気図7月分より抜粋）

（担当：斎藤）